

1. 件 名：日本原子力研究開発機構人形峠環境技術センターの事業者防災訓練報告及び原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練に関する意見交換について

2. 日 時：令和元年12月25日 13:34～19:15

3. 場 所：原子力規制庁3階 ERC

4. 出席者

原子力規制庁 緊急事案対策室

児玉企画調整官、宮地防災専門官、唐箕防災専門官、岡村係長  
国立研究開発法人日本原子力研究開発機構

安全・核セキュリティ統括部 危機管理課 担当者 他3名

5. 要 旨

○人形峠環境技術センターの事業者防災訓練報告

日本原子力研究開発機構から、令和元年11月14日に実施した人形峠環境技術センターの原子力事業者防災訓練について、防災訓練実施結果報告の概要説明があった。

具体的には、防災訓練の目的、防災訓練の概要、防災訓練の項目、防災訓練の内容、防災訓練の結果の概要、今後の原子力災害対策に向けた改善点についての説明であった。

原子力規制庁より、防災訓練の目的、防災訓練の内容についての評価がなされているか、今後の原子力災害対策に向けた改善点について課題と原因及びその対策が明らかになっているか確認を行った。この中で、情報の修正が多かった件について、現地対策本部と現場指揮所間で明確なブリーフィングが行われておらず発生状況確認シートが確定していませんまま機構対策本部とERCとの共有を行っていたため修正が多数発生したとのことだった。また、訓練計画時の達成目標と相違があることから見直すように伝えた。

日本原子力研究開発機構から、防災訓練実施結果報告書を取りまとめ、後日提出するとの回答があった。

○原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練に関する意見交換

日本原子力研究開発機構より、令和元年12月10日に実施した原子力科学研究所の原子力事業者防災訓練で確認された問題点・課題、原因分析、原因分析を踏まえた対策について、ERCプラント班との訓練後の振り返りや社内・社外評価結果も踏まえまとめた資料に基づき説明があった。

原子力規制庁から、複数の現場指揮所から現地対策本部への緊急情報の報告が重なった場合の対応について検討するように伝えた。改善が必要となる事項については、具体的な対策を検討し、今後の原子力防災対策に向けた改善点として、防災訓練実施結果報告書にまとめるように伝えた。

日本原子力研究開発機構より、防災訓練実施結果報告書としてまとめ、後日説明するとの回答があった。

## 6. その他

配布資料：

資料1：令和元年度 原子力科学研究所防災訓練(12/10)における課題対応について

資料2：防災訓練（総合防災訓練）の結果の概要（案）